

◆◆◆ 1年生 ◆◆◆

内面よりも外見から一番成長を感じる学年です（決して悪い意味ではなく）。毎年、1年生がHR合宿を経験すると、高校生らしくなり、その後の夏休みでしっかりと高校生の顔になります。その証拠として、入学時に撮影した証明写真と見比べますと本当に違います。証明写真はあどけない中学生の顔であり、HR合宿のクラス写真はもうすでに大人びて来ています。そして今見る顔はまぎれもなく高校生の顔つき。写真台帳で見ると違和感を抱く程です。学校生活に対する思いも様々あると承知しておりますが、私が何となくクラスを回っている感じでは概して楽しそうです。中大高は昔から居心地の良さを「売り」にしていますので、そのように思ってくれていると幸いです。

高校の勉強の難しさにも慣れ、部活動や行事の経験も積んでいます。1学期の成績に対して、あるいは行事にともなう人間関係の悩みなどもあると聞いております。私達も普段の様子が変わりないか窺っておりますが、保護者の皆様も何か気づかれた際は、早めに教員に相談するなどして頂ければと存じます。

クラブ活動に関しては、一部の部活に偏っているのでは？と書きましたが、今はクラブ活動の継続に関して、コロナ禍以前とは異なるものを感じております。それを証明するのは困難ですが、クラブへの継続の意志が少々薄いのではないかと思うのです。運動部にあっては、クラブチームの存在もあって、ひと昔前の環境とは違う難しいところもあると存じますが、同一種目、種類のクラブを継続しない傾向が一層強く見受けられるようです。というのは、中学で入っていたクラブを高校でも継続するのではなく、高校では新しいものにチャレンジするというものです。本校では、もちろん未経験者も歓迎するスタンスをとっておりますので、新しいチャレンジは大歓迎なのですが、中学高校の6年を一つのクラブにかける姿勢も大事にしたいと思っているだけに、その傾向に対して敏感になっています。クラブの影響で、あまりに勉強が不振の場合は一考を要しますが、高校生活の中での部活は大事ですので、悩んでいることがあれば担任や顧問に相談し、継続してくれることを願っています。

◆◆◆ 2年生 ◆◆◆

やはり、高校1年生のクラスの印象が強く、そこへの郷愁を訴える生徒もおりますが、本校では160名規模の家族的情味を謳っておりますので、全員の顔、存在を知っているようになってほしいという理想の下、毎年、クラス替えを行っております。3年次では文理クラスにわかれ、シャッフルの制限もあることから、今年の新たな出会いを大切にしていきたいと思います。もちろん何か悩み事があれば担任をはじめ、保健室の先生、カウンセラーの先生もおりますので、気軽に相談するようお

声がけ願います。

さて、学校の顔である2年生として、大きな行事である文化祭を終えました（体育祭はどうしても主役は3年生）。文化祭実行委員長をはじめとして、2年文実委員の皆さんは4年ぶりの一般公開となる後楽祭をやり終えてくれました。そのおかげもあって初日は昨年を大きく上回る600名の受験生とその保護者、二日目は在校生保護者、中学時代の友達、そして近隣の町会の方などなど1600名の来場者を数えましたが、大きなトラブルもなく、生徒全員実に楽しそうに生き生きと参加していました。コロナ禍の卒業生からは「自分たちもこのような文化祭を体験したかった、うらやましい！」との声を聴きました。

クラスの仕事、部活の出番などあれこれ掛け持ちして大変な思いをした生徒も多くいると同時に、まだ活躍できると思う生徒もいる気がしてなりません。来年に向けてより多くの人が進んで仕事をこなすことを願いますし、来年の「体育祭」はいよいよ自分達が応援団を率いることとなります。負担を避けるのではなく、少々しんどいかもしれないけれど、運営などに参加してほしいと思います。

最後に、高2の秋は、「進路の秋」となります。自分と正面から向き合って「〇〇学部でもいい」ではなく「〇〇学部がいい」といえるよう考えてほしいですし、親御さんはぜひ助言という形で関わって頂けると幸いです。

◆◆◆ 3年生 ◆◆◆

昼間定時制移行後初の「延泊」という大変な事件（おそらくは95年の歴史上初めてののはず…）が起きた修学旅行を経験した3年生も、体育祭が終わったことで、高校生活における大きな行事は終わってしまいました。もう自分の進路に向かうしかない状況です。附属高校ではあっても受験の流れと無縁でいられるわけではありません。総合選抜型入試はもうすぐ。中大推薦ならば12月下旬、共通テストが1月13、14日、そして一般入試が2月から本格化します。カウントダウンもどんどん進んでいます。どんなに頑張っても卒業式まで5カ月半もありません。LDK（私が書くと家の間取りになります）、LJKという称号がある今この一日を大切にしてほしいと思う今日この頃です。

3年生は、後楽祭は一般公開、体育祭も通常開催に戻り、高校最後の年でコロナ禍前の状態にぎりぎり間に合いました。この二つの行事から得られた経験は、今はまだ実感できないでしょうが、時が経つごとに重くなってゆくことでしょう。進路において、高校生活の思い出は重要です。今までクラブや行事に頑張れたから、勉強に力を入れようという気持ちになれるはずですし、悔いが残っているならばせめて残りの時間は受験に尽力しようとなるはず（なってほしい…）です。

附属高校にいながら受験を選択した皆さんには心からのエールを送りたいと思います（中大に進む人には送らないわけではありません、念のため）。受験を意識すると、中大高に通える有難みも薄らいできてしまいますが、日常を大切にすることで試験までのバランスが保てることも事実です。ぜひ高校生活を大事にしつつ、自分の希望進路実現に向けて頑張ってください。